

大谷地より

第 57 号

発行 北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 遠藤 憲一
編集責任者 事務局編集委員
印刷 株式会社北海道機関紙印刷所

同窓会総会・懇親会開催！

参加者増大で盛大に！

去る十月二十日、二〇〇六年度の北星学園大学同窓会総会・懇親会が、札幌グランドホテルを会場に開催されました。

当日は、午後五時三十分から白雲の間において定期総会が行われ、議長に伊藤修さん（一九九〇年経済学科卒）、書記に小笹里奈さん（二〇〇六年心理・応用コミュニケーション学科卒）を選出し、三議案について協議されました。

議案一『二〇〇六年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告』については、それぞれの担当者から説明・報告がなされ、提案二『役員改選』については、原案どおり了承されました。

議案三の『二〇〇七年度活動計画・会計予算』の協議では、例年行っている事業の継続に加え、釧路支部二十周年行事補助活動について了承されました。議案四の『北星学園大学同窓会会則の一部改正については、原案どおり了承されました。

総会終了後、西ホールに会場を移して懇親会が開催されました。今年度は中川知美さん（一九九一年経営情報学科卒）による司会進行のもと、遠藤憲一



懇親会の様子

長、杉本拓理理事長、金井新二学長の挨拶に続き、田村信一副学長の乾杯で幕を開けました。今回は、同窓会東京支部の方々が母校再訪の旅として札幌に駆けつけていただいたこともあり、参加者が例年よりも増大し、一〇〇名を越える各学部学科の同窓会会員をはじめ、招待教員としていらしてくださった永田勝彦先生、小野寺萬寿郎先生、加藤力也先生、退職された教員の石川恒夫先生が出席くださいました。また、現職の教職員の方々も数多く駆けつけてくださいました。また、北星学園大学短期大学部同窓会からは高谷尚子会長をはじめ、小村知江子副会長、松島智子副会長、諏訪かよ子道北支部長にもご出席をいただきました。

懇親会の中では、懐かしい招待の先生のご挨拶、各支部長・支部長代理による支部活動報告、同窓会奨励生の紹介などが行われました。さらに今年度も同窓会表彰授与が行われ、同窓会の活動に長く寄与された同窓生七名が表彰され、代表して阿知良俊一さん（一九七〇年社会福祉学科卒）、二ツ川憲昭さん（一九七二年社会福祉学科卒）、前田克利さん（一九九一年経済学科卒）の三名へ表彰状と記念品が授与されました。また、経済学部鈴木克典教授より、ゼミ生が開発に携わったチーズケーキ「HA・RU（ハル）」の紹介、経営情報学科で製作した「北星ビジネス通信」の紹介もありました。「HA・RU」は、はまや（ハマ株式会社）社長の佐渡宏樹さん（一九六九年社会福祉学科卒）のご好意により、当日参加者の皆様に試食品が配られました。終始和やかに会は進み、相馬洋司東京支部長の乾杯で盛会の

2006年度 収支決算書			
単位:円			
費目	予算	決算	備考
【収入の部】			
前年度繰越金	5,538,514	5,538,514	預金(5,516,685)現金(21,829)
同窓会費	18,200,000	19,640,000	20,000*982名
総会懇親会費収入	220,000	139,000	3,000*29,1,000*52
プロジェクト	50,000	144,664	コンサート・講演会等募金
利息等	1,000	7,760	定期預金利息
雑収入	0	90,000	祝儀(90,000)
（収入計）	26,009,938		
【支出の部】			
I. 事務費	3,450,000	3,125,882	
1. 会議費	400,000	531,088	支部長会議、幹事会他
2. 交通費	2,200,000	2,214,850	幹事会、総会支部招待・支部派遣他
3. 通信費	150,000	65,378	振込料、ハガキ・切手、慶弔電報
4. 物品費	200,000	95,431	懇親会写真焼増代(63,063)事務消耗品他
5. 印刷費	500,000	219,135	同窓会案内作成、奨励生制度案内チラシ印刷
II. 事業費	17,500,000	12,088,502	
1. 名簿作成費	0	0	卒業生住所録
2. 行事費	4,000,000	2,591,725	卒業生記念品(95,000)、懇親会(1,302,823)、退職者記念品(205,000)等
3. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈文庫
4. 補助費	4,300,000	4,325,000	各支部補助等(3,823,000)、英研・福祉・学祭(400,000)他
5. 奨励費	80,000	80,000	80,000*10名
6. 会報発行費	3,500,000	2,957,069	大谷地より55号、56印刷代・郵送料他
7. 業務委託費	3,000,000	50,824	名簿整備(修正・更新・宛名・地区別名簿出力)
8. プロジェクト活動費	1,500,000	1,053,884	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費他
III. 予備費	1,059,514	0	
IV. 資金積立金	2,000,000	2,000,000	
V. 次年度繰越金	0	8,345,554	預金(8,285,034)、現金(60,520)
（支出計）	24,009,514	25,559,938	

2006年度 貸借対照表			
2007年10月1日現在			
【通常会計】			
借方	貸方	借方	貸方
資産の部		負債・正味財産の部	
現金預金	8,345,554	正味財産	8,345,554
		次年度繰越金	8,345,554
	8,345,554		8,345,554
北洋8,285,034 普通 現金60,520			
【活動資金積立会計】			
借方	貸方	借方	貸方
定期預金	45,389,692	次年度繰越金	45,389,692
	45,389,692		45,389,692
北門 10,000,000 定期 北洋 15,035,904 定期			
道銀 10,353,788 定期 郵便局 10,000,000 定期			
45,389,692			

2007年度 会計予算			
単位:円			
費目	予算	備考	
【収入の部】			
前年度繰越金	8,345,554	預金(8,285,034)現金(60,520)	
同窓会費	18,200,000	20,000*910名(定員801名×1.15)	
総会懇親会費収入	220,000	3,000*50名 1,000*70名	
プロジェクト	50,000	コンサート・講演会等募金50,000	
利息等	7,000	定期預金利息	
雑収入	0		
（収入計）	26,822,554		
【支出の部】			
I. 事務費	3,900,000		
1. 会議費	550,000	支部長会議(100,000)、幹事会(100,000)他	
2. 交通費	2,500,000	幹事会等(50,000)、総会等派遣:本部(1,300,000)支部(900,000)他	
3. 通信費	150,000	振込料(30,000)、ハガキ・切手(60,000)、慶弔電報(30,000)他	
4. 物品費	200,000	事務消耗品他(H.P管理・維持)	
5. 印刷費	500,000	複写・学内外印刷等	
II. 事業費	15,400,000		
1. 名簿作成費	0	2004年度以降当面凍結(同窓会年度)	
2. 行事費	4,000,000	卒業生記念品(100万)、懇親会(200万)、退職者記念品(25万)、2006年度卒業生表彰品(10万)他	
3. 同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫	
4. 補助費	4,000,000	各支部補助等(3,304,000)、英研・福祉・学祭(400,000)他	
5. 奨励費	1,000,000	80,000*10名分他	
6. 会報発行費	3,500,000	印刷代(1,000,000)、郵送料(2,000,000)他	
7. 業務委託費	1,000,000	名簿整備(修正・更新・宛名・地区別名簿出力・不明者リスト出力他40万)他	
8. プロジェクト活動費	1,500,000	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費他	
III. 予備費	2,522,554		
IV. 資金積立金	5,000,000		
V. 次年度繰越金	0		
（支出計）	26,822,554		



加藤先生

小野寺先生

永田先生

この二十年の間には、出席者が少なく落ち込むこともありましたが「続けることに意味がある」を合言葉に続けて参りました。大学から一番遠い支部にもかかわらず、毎年遠藤会長はじめ役員の方、そして教職員の方にも出席していただき感謝しております。

今後も在京同窓生の皆さんとの交流を努め、同窓会東京支部の発展に参りたいと考えております。

卒業おめでとうございます。新入会員の皆さんを迎え、北星学園大学同窓会会員は約二万一千人名になりました。大学全入時代に入り、各大学は存続をかけて厳しい環境が続く中、私達会員は、それぞれの社会生活の中で、市民社会の構成員としてその役割を担い、しっかりと自立し北星卒を発信する事が母校への最大のサポートだと思います。年2回の「大谷地だより」を皆さんの現住所へ発送し、同窓会の事業活動を報告致します。機会を見つければ、それぞれの地域で同窓会の事業に参加してください。

さて、皆さんもいよいよ職業生活が始まります。現在の日本は、暮らしに安定と安心を提供してきた信頼できる様々な社会的仕組が崩壊し、

新入会員の方々へ

学生生活との決別、産業社会の新人として

同窓会会長 遠藤 憲一



更に、建築、食品、家電製品等の偽装が明るみに出、中小企業、大手企業、行政の出先機関・中枢機関に対してまでも、私達の心には疑心暗鬼が広まっている。この不安に即反応し、品格、品性等道徳の復活が求められているが、その道徳も真に社会的に合意できるものがあるのだろうか？

価値観の多様化により、道徳の内容そのものがゆれています。現代の日本は、職業生活の活動の中から利益を得、その循環の中から国民生活を豊かにするという、産業社会です。

言葉だけ、心がけだけでは、職業生活の中、問題解決（職場では仕事の事）にならないのです。まず、職業人として日々、何らかの選択を迫られている自分を自覚し、選択すべき物事を見極める力をつける為、今何をすべきかを見つめることです。私達には生まれながらに成長する力、生きようとする力が備わっています。様々な体験の中

で、新しい自分の発見があります。多面的な自分を発見する事は成長する、成長している証です。市場は新人もベテランもない本来対等な環境、対等な関係にあります。

小さな事、いやな事、苦手な事にめげず挑戦してください。その中で、思いもよらない自分を発見し、磨きをかけ、基本を身につける為、自分を更に研く環境を見つけ、気付く力、発見する力、何かを感じる力を養い、問題解決の中、人を助け、人の力になり人脈をつくり、その中で専門知識を身につける事により、努力や実力だけでは論じる事のできない「運」を自分で育て、引き寄せて下さい。

学生生活とは決別するも、北星卒に変わりはありません。学生時代の「熱い思い」をいつまでも持ちつづけ、この自己忘失の混沌とした社会に「濁」を入れるような人物を目指し、大活躍される事を期待します。

ラグビー部一部昇格祝勝会開催！

ラグビー部一部昇格祝勝会報告

文学部 蓑内 豊

ラグビーの一部昇格祝勝会とOB会の設立が二〇〇七年十二月八日(土)、ホテルライフォール札幌において行われました。当日は十七名の部員、九名のマネージャーの他に、前顧問の永田勝彦先生、約四十名のOB・OGが集いました。一部昇格は北星学園大学ラグビーの永年の目標であり、その目標を達成した喜びをこれまで携わった関係者みんなで分かち合いました。

会ではまず、永田先生から同好会ではなく、部として存在することになった草創期のお話を伺い、先生の音頭による乾杯で祝勝会が始まりました。久しぶりの再会も多く、すぐにあちこちで人の輪ができ、大いに話が盛り上がりつつある様子でした。

今シーズンを通して

経済学部経済学科四年 中川 創太

この度、私達ラグビー部は、皆さんの応援のおかげもあって「二部トーナメント優勝、一部リーグ昇格」を果たすことができました。二部トーナメントで優勝するのも、一部リーグに昇格するのも、私達ラグビー部にとっては初めてのことで、今シーズンは、とてもハードな試合が続きました。試合数も多かったですし、試合会場も札幌・函館・夕張・帯広と道内各地を転々としてきました。大きなケガ人もなく、ベストメンバーで試合に臨むことができ、その結果公式戦を全勝でシーズンを終えることができました。



今シーズンのチームの目標は「一部昇格」であり、その目標に向かって部員とマネージャーが一丸となって練習に取り組んできました。練習メニューや戦術の面では、たくさんのOBさんが献身的にサポートしてくだ

さ、入学年次ごとに一人ずつ短いスピーチをしていただきました。体型が変わりプロップのようになっている元選手、髪の毛の寂しい元選手、子ども連れの元選手、元マネージャーの姿を見ると、時間の流れと共に数多くのOB・OGが一部昇格を目指して努力してきたことを思い出しました。いずれの参加者もこのような機会を作ってくれた現役選手たちの活躍に改めて感謝する気持ちでいっぱいだったと思います。

また、お楽しみイベントも準備され、ラグビージャージやスパイクを贈った力自慢(?)コンテストでは、現役部員に交じってOBも参戦し、イベントを盛り上げてくれました。あつという間の二時間で、次シーズンの主将となる吉田樹君と私からの締めめの言葉で楽しい会を終えました。

場所を移して行われた二次会ではさらに十数名のOB・OG、関係者が新たに加わり、楽しい話が夜遅く(早朝?)まで続いたようです。最後になりましたが、このような会を企画・準備していただいた佐伯宏氏、辻拓氏(一九九七年卒)、玉越修身氏(二〇〇〇年卒)には特に感謝したいと思っています。

同窓会各支部紹介



札幌を離れる新会員の皆様、同窓会には各地に支部がありま

旭川支部(一九八三年発足)

支部長 松倉 千春

帯広支部(一九八五年発足)

支部長 樋渡 喜久雄

北見支部(一九八七年発足)

支部長 佐々木 卓

東京支部(一九八八年発足)

支部長 相馬 洋司

函館支部(一九八八年発足)

支部長 田中 陸裕

釧路支部(一九八九年発足)

支部長 櫛部 武俊

千歳支部(一九九六年発足)

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

支部長 二ツ川 憲昭

退職にあたって

大谷地の風景

社会福祉学部 平 倫子



で参りました。その間に会った先生がた、お世話になった事務の方々、共に学んだ学生さんたちに、ところから感謝いたしております。同じ年月、キャンパスのまわりの風景を四季折々に楽しんできました。大谷地という名前から、昔は原生林だったのでしょうか。

卒業生の皆さんとの出会いに感謝

教育研究支援課 酒井 彰



今ではもうなくなりましたが、グラウンドに面した木造二階建ての一階の合同研究室にいたころは、冬に雉のつがいを観察したり、あの森にはいまも雉が棲んでいるでしょうか。第一研究棟五階の東端にいた頃は、窓のすぐ外にあるグイ松の太木を飽かず眺めました。二階の同じ位置に部屋が移ったときには、グイ松が窓一杯に見え、視点が変わって新鮮でした。はじめはその木の名を知りませんでした

北星教育の理念は変わらず

学生支援課 大野 和喜



たのは、昭和四〇年代の初めである。団塊の世代の狭き門の時代で、ほとんど受験勉強しなかった私が入学できたのも不思議であった。雪原の台地に平屋のフレハブ校舎が並び、ひととき高くチャペルの塔がそびえ

北星学園大学同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業年
会長	遠藤 憲一	社 67.3
副会長	斉藤 誠	経 71.3
"	三田 泰夫	経 71.3
旭川支部長	松倉 千春	社 69.3
帯広支部長	樋渡 喜久雄	社 76.3
北見支部長	佐々木 卓	社 74.9
東京支部長	相馬 洋司	経 71.3
函館支部長	田中 陸裕	英 67.3
釧路支部長	櫛部 武俊	社 75.3
千歳支部長	二ツ川 憲昭	社 72.3
幹事	小野田 久美子	英 67.3
"	有澤 睦子	英 74.3
"	竹田 和三	英 74.3
"	高橋 哲雄	社 74.3
"	斉藤 美樹子	経 74.9
"	築地 千穂子	社 75.3
"	森谷 恭一	英 78.3
"	森 康雄	経 82.3
"	宮内 聡	社 87.3
"	森越 京子	英 87.3
"	高橋 麻里子	英 87.3
"	田中正博	経 89.3
"	竹内 禎哉	経 89.3
"	伊藤 修	経 90.3
"	佐藤 剛	経 91.3
"	鈴木 克典	情 91.3
"	三澤 信也	経 95.3
"	村上 賢吾	経 96.3
"	桐山 城太郎	情 96.3
"	牧田 浩一	社 97.3
"	小塚 賢	経 99.3
"	佐々木 洋	心 00.3
"	幸坂 希	英 01.3
"	木村 哲晃	経 01.3
"	戸松 真洋	情 02.3
"	工藤 寛子	臨 03.3
会計監査	鈴木 克知	経 91.3
"	高橋 章	経 96.3

※●任期：2007年10月～2009年9月

る、入学式の日の光景が目につかぶが、その時の鷲山第三郎学長の格調高い式辞も忘れがたい。学長は我々入学生に対して「大学の使命」を説明し、ジョン・ヘンリー・ニューマン(英国の神学者一八〇一～九〇)の著述から引用して「大学とは教える者も教えられる者も遊ぶ場所である」と言われたのである。幼子のような純真無垢な心で学問に遊ぶ。そこから自己の何であるかを悟れというその言葉に心打たれたのを憶えている。

卒業後、幸運にも私は母校の事務職員に採用され、総務課庶務係としてスタートしたが、佐藤正夫事務局長から任せられた仕事は、主に宗教部と同窓会の業務であった。当時同窓会は発足して間もない頃で、大学とのパイプ役を必要としていた。同窓会事務局のまとめ役として会長を補佐して、「同窓会だより」の発行、定期総会懇親会の開催、奨学金の授与、支部設立等に動きまわった。若かったせいもあるが、あの頃の仕事が一番充実していたと思う。同窓会は卒業生の母校への想いと同窓の絆の自覚と熱意によって成り立ち得るもので、卒業は大学との別離ではないことを認識いただきたいのである。

三十七年間、「万年学生」として(途中法人本部に異動したが)居続けて、北星の移り変わりを眺めてきた。幸せて楽しい日々、それも終りである。建物も組織も人も変わっていても、北星教育の理念(精神)は永久に変わらない。そのことは確かである。

長い間お世話になり、ありがとうございました。

申し込み方法について オペラコンサートの 申し込み方法について

受付け開始日は4月21日(月)です。「オペラコンサート参加希望」とお書きになり、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキ又は電話・FAX、メールでお申し込み下さい。その時点で受付となります。(当日の参加も歓迎しますが、教室確保の都合上事前にお申し込みください。)

申し込み・ 問い合わせ先

〒001-8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL:011-891-2731 FAX:011-892-6097
e-mail:dousoukai@hokusei.ac.jp

お願い

友人・知人の方もぜひお誘いください。なお、小さなお子さんの入場はご遠慮下さい。

オペラ・OPERA・オペラ in 北星No. 5

～テノールとともに～

日 時：5月17日(土) 午後2時から
会 場：本学チャペル

SOSからのメッセージ

多くの方々にオペラを身近に感じていただきたい「いつでも…どこでも…だれでも…」をテーマに掲げて、昨年は色々な所でコンサートをさせて頂く機会に恵まれ、「音楽」は私たちにとって大切である以上に「必要なもの」なのだという感動的な場面に幾度となく遭遇いたしました。

爽やかな5月のお昼のひと時、藤原歌劇団テノール歌手小山陽二郎氏と札幌オペラスタジオのメンバーが、皆様の心の琴線に触れる音楽をお届けできましたら幸いです。(札幌オペラスタジオ代表・井出 祐子)



特別出演 小山陽二郎

愛知県芸術大学、大学院および研修生修了、1994年イタリア・ミラノに留学。カッショ・リリカ、プタペスト歌曲コンクール、ドニゼッティ・ロッシーニ声のコンクールにそれぞれ第2位入賞ほか、各国際コンクール入賞。現在、昭和音楽大学非常勤講師、藤原歌劇団団員

札幌オペラスタジオ出演者

小貫多喜子・小平明子・東條磨見子・柳生たみ・西谷恵・村山元子・千田三千世・坪田由里子・福島由紀子・東海林知子・金子知世・三浦由美子・佐藤友紀
(変更があるかもしれません)
ピアニスト
佐藤栄里子・根岸今日子



新企画プロジェクトからのお知らせ

今年度もたくさんの方々の皆さまのご参加をいただき、講演会、コンサートなどを開催してまいりました。これからも充実した魅力ある企画を実施していきたいと思っておりますので、今後とも一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会プロジェクト 会員募集

同窓会から広く会員を募集します。

活動内容：講演会、コンサート等の企画立案・実施、「大谷地だより」「プロジェクトからのお知らせ」紙面の作成

活動日：毎月第2水曜日（不定期に臨時例会があります。）

興味、関心のある方はぜひ下記までご連絡下さい。お待ちしております。

北星学園大学同窓会事務局

同窓会プロジェクト係

TEL 011-891-2731 FAX 011-892-6097

e-mail:dousoukai@hokusei.ac.jp

講演会報告

あべ弘士講演会

『あらしのよるに』朗読とともに

昨年十月六日(土)午後一時より、「どうぶつに絵をならった」と題し、あべ弘士講演会が開催されました。

そして『あらしのよるに』に関するエピソードへと続きます。『あらしのよるに』はおおかみとヤギが嵐の夜に洞穴の中で出会い、翌日一緒にお昼を食べる約束をするまでがユーモアを交えて語られ、描かれています。



あべ弘士さんは、二十五年にわたる旭山動物園の飼育係を経て、絵に専念され、今、最も人気のある絵本画家の一人として、ご活躍なさっていらっしゃいます。

描くことになった頼みなどお話をしました。また、大阪通天閣そばにある天王寺動物園かほ舎のプールの中では、大量のふんを浄化するために生きものを飼っていることや、ある初版本で描いた動物のこどもが途中で五匹から六匹に増えていた失敗など普段は聞けないようなお話も聞かれました。

そして最後に、アフリカで取材した風景を基にした絵本のDVDのスライドショーとあべさんが自身の朗読がありました。

講演終了後、本を手にした皆さんのファンの方々にサイン会もしてくださいました。一人ひとりに、丁寧に絵と名前を書きあべさんと、サインする本を広げていくくれた船越さんに深く感謝した一日でした。

チャペルコンサート報告



「トウランドット」は先日亡くなったパバリッティがトリノ五輪の開会式で熱唱していた姿を思い出して目頭がジーンとしました。「スメタナはドラマチックなスケールの大きさにびっくりしとりになりました」など皆さまからの感想がありました。



去る十二月一日(土)パイプオルガンやすらすらの調べが本学チャペル専属オルガニストである米本悦子さんをお迎えして開催されました。第一部はG・F・ヘンデル「音楽時計のための小品集より ジグ・アレグロ、モテラー・ガボット」、J・パッヘルベル「シャコンヌ へ長調」、第二部はJ・S・バッハ「主和みした心」心地よいパイプオルガンの調べに安らぎを覚え心が洗われるようでした。

日本フィルコンサート報告

去る九月十五日(土)本学チャペルにおいて日本フィル弦楽四重奏団によるコンサートが開催されました。今年も満員の聴衆で埋まったチャペルに美しい調べが響き渡りました。ヴァイオリン奏者の松本克巳氏がそれぞれの曲を丁寧に説明して下さいました。第一部は、バーク「弦楽四重奏曲短調」心に残る素晴らしい演奏は、コンサートホールでは味わえない室内楽の魅力に触れるひとときになりました。

「トウランドット」は先日亡くなったパバリッティがトリノ五輪の開会式で熱唱していた姿を思い出して目頭がジーンとしました。「スメタナはドラマチックなスケールの大きさにびっくりしとりになりました」など皆さまからの感想がありました。

第二部は、スメタナ「弦楽四重奏曲第一番短調」わが生涯の曲でした。

心に染み渡る素晴らしい演奏は、コンサートホールでは味わえない室内楽の魅力に触れるひとときになりました。

「トウランドット」は先日亡くなったパバリッティがトリノ五輪の開会式で熱唱していた姿を思い出して目頭がジーンとしました。

「スメタナはドラマチックなスケールの大きさにびっくりしとりになりました」など皆さまからの感想がありました。

第二部は、スメタナ「弦楽四重奏曲第一番短調」わが生涯の曲でした。

心に染み渡る素晴らしい演奏は、コンサートホールでは味わえない室内楽の魅力に触れるひとときになりました。

「トウランドット」は先日亡くなったパバリッティがトリノ五輪の開会式で熱唱していた姿を思い出して目頭がジーンとしました。

「スメタナはドラマチックなスケールの大きさにびっくりしとりになりました」など皆さまからの感想がありました。

第二部は、スメタナ「弦楽四重奏曲第一番短調」わが生涯の曲でした。

心に染み渡る素晴らしい演奏は、コンサートホールでは味わえない室内楽の魅力に触れるひとときになりました。

「トウランドット」は先日亡くなったパバリッティがトリノ五輪の開会式で熱唱していた姿を思い出して目頭がジーンとしました。

「スメタナはドラマチックなスケールの大きさにびっくりしとりになりました」など皆さまからの感想がありました。

第二部は、スメタナ「弦楽四重奏曲第一番短調」わが生涯の曲でした。

心に染み渡る素晴らしい演奏は、コンサートホールでは味わえない室内楽の魅力に触れるひとときになりました。

「トウランドット」は先日亡くなったパバリッティがトリノ五輪の開会式で熱唱していた姿を思い出して目頭がジーンとしました。

「スメタナはドラマチックなスケールの大きさにびっくりしとりになりました」など皆さまからの感想がありました。

第二部は、スメタナ「弦楽四重奏曲第一番短調」わが生涯の曲でした。

卒業にあたって

大学はおいしい干物の世界でした

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 有本 共行



「大学は干物の世界だ」という言葉と、ある国立大学の学者が述べていました。聞いた当初は「このおじさんは何を言っているのだ」と感じたのですが、大学生生活でその「干物」のうまさを感じていました。

四年間で最大の変化は、情報の扱い方です。テレビ、新聞、ラジオなどに加えて、急激に普及したインターネットの利用は、一見すると日常を楽しめるのへと変えたように見えます。しかし、あまりにも簡単に情報が手に入ることや、人とのつながりが不確かなこと、知りたいことが知れない情報の狭さ、逆に自分をタメにしまふのではと思ったりもしました。パソコンを操作することが出来ても、情報を使いこなせてはいなかったようです。まさに情報大爆発です。

夢と現実の間を埋めた大学生活

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 金田 尚也



本大学に入学し、私は一つの夢を叶えました。それは「留学する」という夢。三年次に中国へ留学できた事で、夢を叶えるばかりか自分の可能性を広げる事もできました。

第二に、ラクロスを中国に普及。北京カップという国際大会に参加する事ができ、選手兼通訳としてラクロスを中国に広める事ができました。

学生生活の振り返りの決意

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 瀬川 有希



心理・応用コミュニケーション学科（通称：心コミ）入学前は、面白そうな名前だけど、どんなことやるのかわからなくて不安だなと思っていたのを覚えています。

しかし、その不安は、入学式のすぐ後にある学科オリエンテーション（心コミ新入生歓迎会）で一蹴されました。学生が中心になって約三ヶ月も準備をして、これから心コミ生になる新入生にゲーム感覚で楽しく学科を紹介するというイベントで、学生の力でここまでのごとができるのかと驚かされるほどでした。

ふり返ると、そこには

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 上道 和恵



『時間は休み方を知らない。気まぐれに足を止めることなく常に流れていく。私が手にした四年間という時間もまた同じこと。限られた時間だからこそ、今の私に立ち止まっていた暇はないんだ』

これからの夢を掴むと共に夢を与えられる存在になれるよう、走り続けていきたいです。

挑戦×実働―デキル人

経済学部 経済法学科 西山 雄貴



大学時代は、挑戦を楽しい現場で。札幌市長と大学で話すイベントを催したり、CMやキヤッチコピー等のコンテストで賞を頂いたり、大学祭では、伝説ともなる10店舗の運営をした。これまで前を向いた活動をしてこれたのは、今の時代の影響が大きかったと思います。

「あの案、自分も考えてたんだ」とか「あの人、良いこと言な」とかという類の話をよく耳にしますが、他人に先を越されるようなことでは、自らの輝きの場を自ら放棄しているのと同じなのです。それは、実にもったいないことです。誰よりも先に素早く挑戦する実働力こそが、大事なことです。

出会いと別れ

社会福祉学部 福祉計画学科 稲田 実菜子



私は、福祉を学び、将来専門職として働くために三年次編入生として、北星学園大学に入りました。そこでは、沢山の出会いが待っていました。友達がいなかった私にも、同じ道を目指す信頼できる友達や先輩の仲間たち、優しい先輩や頼もしい先輩達に恵まれて本当に幸せな二年間でした。

見えたことのない景色はまだまだたくさんあります。私はこれから人に誠実に、そして新しい世界への第一歩を踏み出せる人間でありたいと思います。

スポーツニュース

報告のあったサークルのみを紹介しています。

モタンの部 佐藤 亮平
タノゴ 3位 藤原 祐介
第52回全日本学生競技ダンス選手権大会 佐藤 亮平
出場 佐藤 亮平
陸上競技部
2007全日本学生陸上競技選手権大会 出場で
女子 走高跳 一力 友美
第91回日本陸上競技選手権大会 男子 4×400mリレー
小林 靖幸 熊谷 健吾
辻 哲也 白川 拓也
渡部 優 國崎 慎史

ハンドボール部
第9回全日本ユース選抜選手権大会
北海道ユース選抜
望月 麻未 藤井 明子
茂庭 夕貴 徳山 智代
チアダンス部 STARS
第7回全日本チアダンス選手権、第5回全日本学生チアダンス選手権大会
チアダンス大学生部門 10位
放送研究会
第24回NHK全国大学放送コンテスト
アナウンス部門 4位 西尾 幸奈

北星学園大学教育
振興寄付金と芳名
募金のご協力に深く感謝申し上げます。

編集後記
同窓生の仲間入りをした新入会員の皆様、卒業おめでとうございます。社会人になっても同窓生と北星学園大学はいつまでも繋がっています。大学が懐かしくなったとき、年一回皆様の元にお届けするこの「大谷地だより」に目を通してみてください。きっとまた、学生時代に帰ったような気持ちになれると思います。

尚、四月から転居等で現住所が変わられる方は是非同窓会事務局へ一報ください。HPからメールでも変更手続きはできますので、よろしくお願ひします。（事務局 小笹）